

受付番号 No.7

令和 7 年 2 月 17 日 午後 2 時 15 分受領

令和 7 年 2 月 17 日

日出町議会議長 金元 正生 様

議員番号・氏名 14番 森 昭人

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 就任半年の町長の政策について	町長就任後、この半年の間は、町長が理想とする町づくりの一端が垣間見え、いよいよ任期初年度の予算編成がなされたが、新年度、安部町政が本格始動する前、改めて、町長の政策を問う。	①町長は、「日本一誇れる町」「日本一暮らしやすい町」など、ご自身のまちづくりのビジョンに「日本一」を掲げている。 ・高い理想を抱くことは良いことだが、日本一と比較表現する町長の真意は？ ・町民や職員にも伝わっていないのでは？ ・「日本一のまちづくり条例」を制定してはどうか？ ・町長のビジョンは、第6次日出町総合計画にどう反映されるのか。 ②町長は、「地方創生SDGsの推進」及び「ゼロカーボンシティ」を宣言した。 ・それぞれ「SDGs未来都市」「脱炭素先行地域」を目指してほしいが？ ・新たに国の支援を受けるため、今後、どう取り組んでいくか。	他議員の質問と同旨の場合は、視点を变えて質問するか割愛する



質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
		③町長は、本年１月１９日から３日間、台湾を訪問した。 ・台湾企業の誘致及び人材交流の足がかりとなったか？手応えは？ ・対台湾に限らず、企業誘致や人材交流には、県の支援を受けることが重要である。県との連携はとれているか。	
2 ふるさと納税推進の体制強化	町長は、就任からこれまで、町内外の企業に対し、企業版ふるさと納税寄付金の理解を得るため、势力的にトップセールスを展開している。また、新年度、企業版ふるさと寄付金はもとより、ふるさと寄付金は、前年度比で増額計上しているが、ふるさと納税の現状と今後の運営について問う。	①ふるさと寄付金の令和６年度の総額の見込みは？ ②ふるさと寄付金１０億円は、町長にとって通過点？であると考えて。今後、ふるさと納税をさらに推進するため、公社の設立その他、返礼品開発を支援する民間企業との連携を考えているのか。 ③改めて、企業版ふるさと納税とは、どういう仕組みか。また、今年度の実績は？ ④ふるさと納税をさらに拡充するため、推進室から「ふるさと納税推進課」に格上げし、組織の強化を図るべき。	
3 地方創生交付金の活用	国は、「地方創生２．０」の実現に向け、「新しい地方経済・生活環境創生交付金」の創設、「地方創生応援税制」の延長、「地方創生移住支援事業」で地方の自主的な取り組みを後押しするとしている。これら地方創生交付金が積極的に活用されているのか、町の姿勢を問う。	①「地方創生２．０」とは？ ②交付金対象事業に決定されるまでの流れはどうなっているか。 ③「第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略」以降の地方創生交付金の活用実績と主な事業は？	

質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
		④地方創生交付金は、自治体の自主的・意欲的な取り組みが大前提である。戦略的に対応する体制を強化すべき？	
4 地域公共交通の再編	迷走している日出町の地域公共交通を問う。	①再編しなければならない最大の要因は？ ②公聴会に参加したが、「デマンド型を存続してほしい」という意見も多数あった。来年度以降、町内全域で予約などを必要としない定時・定路線の構築は既定路線か。 ③現在、便利に利用されている町民の方々が不便にならないよう、さらには、今以上に使い勝手のよい交通網の再編は必須。今後、どういう観点で協議を進めていくのか。	
5 副町長人事について	現在も空席のままの副町長について問う。	全国には、何年も副市町村長が不在の自治体もあるが、町内外を躍動し、日本一を掲げる安部町長の政策をしっかりと支える副町長は必要であると考ええる。どうするおつもりか。	